

## 資料・統計

## 2005年放射線治療の概要

## Annual Report of Radiotherapy in 2005

杉田 公 松本 康男 椎名 真  
関 裕史 古泉 直也

Tadashi SUGITA, Yasuo MATSUMOTO, Makoto SHIINA,  
Hiroshi SEKI and Naoya KOIZUMI

2005年の当院放射線科における放射線治療業務の概要を報告する。

2005年の新患登録者数は851で、前年比17%増であった。大幅な増加である。これに昨年までの登録患者および05年内登録例が再診したケースを加えて約1000例の治療を行なった。

表1. 表2. に2005年新患登録症例の原発臓器別度数および年次推移を示した。

特殊治療については全身照射14例、甲状腺癌I-131内服治療23例、バセドウ病I-131内服治療17例、Ir-192高線量率腔内照射26例（気管支3 子宮頸部23）、低線量率腔内照射なし、Cs-137およびAu-198低線量率組織内照射7例（口腔口唇6 膀胱1）であった。表3. に例年の分類に従って密封小線源治療症例数を示した。

2005年は前立腺根治症例数と造血器系腫瘍の伸びが際立っている。前立腺癌については時代の要請であるが、造血器系のそれは原因が不明である。

全国の主だった放射線治療施設の症例数が新聞紙上で発表されるようになり、施設間の比較が容易になってきた。当院では、通常の外照射数が目立っているばかりでなく、腔内照射やアイソトープ治療等の特殊治療数も法的許容量あるいは当科の枠一杯となっており、もはや手詰まりである。

2005年は7月に定位放射線治療専用機BrainLAB社

製ノバリスが導入された。半年間で95例の治療を行なった。治療部位別の症例数は脳42、頭頸部4、肺40、肝9であった。当初、脳転移を中心とした治療を想定して導入されたものであったが、この機種は体幹部の治療も可能である。当院では体幹部病変の適応も多く、とくに肺病変には絶大な効果をもたらしている。従来から稼働している2機のライナックを用いていた症例のいくらかを、例えば前立腺癌症例等を、ノバリスに移せるかとの期待もあつたが、実行できなかった。今年に入ってもノバリスの稼動は良好で、病院の収益の点でも貢献している。

年間の症例数の伸びはノバリスによる增加分に加え、その宣伝効果が通常照射にも及んでいるようである。

ノバリス導入に関連して、ほかに3次元治療計画装置および治療専用CTが導入された。これにより当院の放射線治療計画は「3次元的」となり、従来のライナック2台による放射線治療が様相を一変した。従来は患者をシミュレータに乗せ、エックス線透視下で治療計画を立てていたが、「3次元的」では患者体表に座標軸をマークし、それを基準にCT撮影し、コンピュータ内の3次元CT像で治療計画する。精度は向上し質的管理と質的保証に寄与するところも大である。

表1 2005年新規登録患者原発臓器別症例数

脳	6	胃・腸	44	造血器	46
		肝・胆・脾	17		
口腔・唾液腺	12	消化器合計	132	皮膚・軟部・骨	24
上咽頭	4				
中咽頭	10	肺	216	その他の悪性腫瘍	17
下咽頭	10				
喉頭	36	乳腺	98	良性疾患	5
その他	5				
頭頸部合計	77	女性性器	46		
甲状腺	14	泌尿生殖器合計	170		
		前立腺	137		
食道	71	その他	33	合計	851

表2 原発臓器別新規登録患者の推移

	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05
頭頸部	57	61	66	62	80	69	57	66	63	79	64	77
咽頭	23	23	14	9	27	25	12	19	23	20	21	24
喉頭	17	19	30	29	39	28	27	25	29	36	24	36
口腔・その他	17	19	22	24	14	16	18	22	11	23	19	17
消化器	49	75	85	84	86	91	96	82	87	122	141	132
食道	31	39	57	59	54	65	62	57	60	83	99	71
胃・腸	13	22	18	17	18	17	18	20	21	33	31	44
肝・胆・膵	5	14	10	8	14	9	16	5	6	6	11	17
肺	129	153	137	133	129	134	148	119	148	156	179	216
乳腺	52	52	112	85	80	95	91	83	102	114	125	98
女性性器	19	19	14	13	10	16	14	14	24	42	38	46
泌尿生殖器	32	31	43	41	47	53	39	60	65	129	104	170
その他	48	56	58	57	73	50	53	52	79	92	75	112
計	386	446	515	478	505	508	498	476	568	734	726	851

表3 密封小線源治療症例数の推移